

シンポジウム I

5. 脳梗塞に対する高気圧酸素治療

波出石弘^{*1)*2)} 鈴木明文^{*1)} 安井信之^{*1)}日沼吉孝^{*2)} 鈴木英一^{*2)}

{	秋田県立脳血管研究センター脳神経科 ^{*1)}	}
	同 高気圧酸素治療室 ^{*2)}	

脳梗塞例に対し酸素代謝を改善させる目的で高気圧酸素治療 (HBO) が行われてきたがその有効性については議論が多く予後を改善させるほどの効果はないとの指摘もある。我々は第二種治療装置導入以来脳梗塞患者に対し HBO 中の脳波を記録し本治療の有用性について検討してきたが、広範な梗塞巣を呈する例では脳波上の改善はなく予後も不良であった。また CT 上梗塞巣が明らかでなく主幹動脈閉塞のない軽症脳虚血例でも HBO 中の脳波変化はなく、HBO 非施行例と比べ予後に大きな変化はないと思われた。今回慢性脳虚血状態ともいえる副側血行の良好な内頸動脈閉塞患者に対し HBO の有用性について検討したので報告する。

【対象および方法】 内頸動脈閉塞が確認された Minor Stroke 患者 5 例 (年齢 48~68 歳, 全例男性) で 2 例は一過性脳虚血発作を繰り返していた。全例バイパス手術前と術後一ヶ月後に HBO 前中後での脳波測定と PET (Positron Emission Tomography) を施行し比較した。

【結果および考察】 全例で術前 PET 上酸素摂取率 (OEF) は亢進していたが HBO 脳波が改善したものは 3 例であった。HBO 中脳波の改善を認めなかった 2 例は既に中等大の梗塞巣が出現していた 1 例と対側内頸動脈にも高度な狭窄病変を合併していた症例であった。術後全例で脳虚血発作の再発を認めず 4 例で OEF は正常化し HBO 中の脳波変化も認められなくなった。術後 HBO 中の脳波が改善した 1 例は対側内頸動脈狭窄例で術後も OEF の亢進が認められた。

PET 上 OEF が亢進し脳血流量が低下したいわゆる Misery Perfusion として確認される虚血脳には HBO による酸素代謝の改善が期待されるが、その効果は一時的なものであるため根本的な脳虚血の改善にはバイパス手術が必要である。慢

性脳虚血例に対する HBO はあくまで補助的な治療手段であると考えられた。具体的な症例を呈示し報告する。